

学校関係者評価報告書 平成 29 年度

項目	評価項目	評価結果・課題	課題・改善方策
(1) 教育理念・目標	・ 創学の精神「自立」と「清く・正しく・美しく」の教育理念は実行されているか	創学の精神と教育理念は明確に定められ、人間性の涵養に尽くした。また一人一人の自立と意識向上を目指した教育に努めた	明確な創学の精神と教育理念を徹底し、日常的に学生に認知させることによって、更なる「自立」「清く正しく美しく」の意識向上と実行に努める
	・ 職業とキャリアを重視した教育がなされているか	最先端の職業教育に辛勞し、専門知識・技術・人間性を重視した教育に取り組んだ。学生の将来に関するキャリアビジョンを明確にさせ、キャリアを見据えた知識の増強・技術の熟達の教育に専心した	学生一人一人に、職業選択に加えてその後のキャリア形成を意識させる。教員も研修等で職業やキャリアに対する知識を深め、研鑽を重ねることで、今以上に実践的な技術の習得を目指す
	・ 専修学校が社会に於ける役割を認識しニーズに応える学校づくりに努めているか	専修学校の役割を認識し、またその役割を積極的に周知した。社会からのニーズを汲み取り、更に職業と直結した職業教育・人材育成に取り組んだ	専修学校の役割を認識したうえで、更なる周知に励む。情報の内容、手段などを適宜改善し、社会の反応を鑑みて、より深層なニーズの汲み取りを量る。ニーズを解析し、より良い学校づくりに活用する
	・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	理念や目的、育成人材像を式典等で広く学生に報知し、紙媒体を用いての周知にも努めた。また HP・SNS を積極的に活用し、学校の理念・目的のみならず、学校の目指す将来構想の情報共有にも注力した	今現在の HP・SNS・紙媒体での周知を維持・向上させる。また模範生を表彰して、目指す育成人材像を明確にし、学生・保護者に認知させることによって、学生の目指すロールモデルとする。本校ならではの特色をより掘り下げて前面に打ち出し、その特色を活かしての将来の構想を発展させていく
	・ 専門教科に重点を置き、併せて一般教科・特別教育活動をして専門業界の即戦力となる人材の育成に努めているか	専門業界で即戦力となる人材とはどういった人物であるのかを分析しながら、専門教科を軸に、一般教科や特別教育活動を通して人材の育成を図った。専門業界に於ける即戦力の人材の変容に対応するべく、今後も情報収集と教科や授業内容の向上を進める	卒業生や就職先の企業にアンケートを取り、専門教科・一般教科の中での偏りや弱点を分析する。卒業生や就職先の企業などからの意見を積極的に取り入れながら、即戦力となる人材とはどういった人物であるのか、またどういった知識や技術などが求められているかを認知し、授業内容の改善と向上を図る
(2) 学校運営	・ 校務分掌役割の確認と責任の遂行はなされているか	教職員で組織され、各自が割り振られた分掌の役割を認識し、責任感を持って分掌の遂行にあたった。次年度は人数や分掌内の役割の変更による抜け落ち、確認不足等が予想されるため、その対策を図る	在籍する教職員の中で明確に校務分掌における役割を分け、前任からの引継ぎや問題への対処などを円滑に進める。各自責任を持ち、他の教職員との声掛けや相互確認などで抜け落ちや確認不足を減じる
	・ 事業計画を綿密に立て、共通理解で運営されているか	教職員間で密に話し合い、年度初めに年間計画を立て、適宜確認や変更を行いながら、事業計画の履行に努めた	綿密な話し合いを経て成された事業計画を適時確認し、随時年間計画等での変更点などを修正しながら、教職員間内での齟齬が無いように努める
	・ 運営組織や意思決定機能は職員会議等で諮られて納得して十分機能しているか	職員会議等で十分に諮り、運営組織や意思決定機能に対する認識を確認した。納得のうえで機能させ、運営や意思決定にあたった	運営組織内での課題や対策を職員会議等で広く認知する。意思決定機能においても職員会議等で意見を募り、各自の納得を得たうえで機能させていく体制を強化する

	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	人事・給与規定は整備されている。今後は更に十全させるべく努力する	各方面からの意見を参考にしながら、より良い方向への整備を目指す
	・ 業界や地域社会と密接な信頼関係が確立されているか	産官学とも共同で取り組み、密接な信頼関係が確立された	本校教育活動は業界や地域社会から理解され、支援を受けるほどの信頼関係にある。地域の産業発展のため、協力できることは積極的に取り組む
	・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	HPに加え、SNS、情報誌において、教育活動等の情報公開を行った	HP・SNS・情報誌などでの発信を行い、適時確認を経て適正な情報公開に努める
(3)教育活動	・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育課程の編成実施方針が審議され、提議・策定された。今後も教育課程の編成や実施方針等を適時見直し、改編による向上に努める	より教育理念や創学の精神に沿った教育を目指すべく、教育課程編成委員会への本校が志す人材育成やキャリア教育等の浸透を図り、互いの相談を重ねたうえで教育課程の編成や実施方針の改編を行う
	・ 業界のニーズに十分応えるレベルに到達する教育と時間の配分が明確にされているか	企業と学校での連携を十分に図り、業界の求めるニーズを解析した。それらをもとに、求められるレベルに相応しい教育か、また時間配分が適切か、比較や検討を重ねた。今後もより適正な教育内容・時間配分のために情報収集と、比較・検討を続ける	より適正な教育内容・時間配分を目指すため、インターンシップや就職において関係のある地元の優良企業から、学生に対しての評価・情報を集め、本校における教育のレベルや偏りを汲み取る。そこから得た知見をもとに、業界から求められるニーズに到達するレベルの学生を育てるため、適宜時間配分の増減や、教育内容の向上を策す
	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されキャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	キャリア教育・職業教育を実践するため、連携企業・卒業生等と情報を共有し、カリキュラムの見直しを図り、充実と上進に努めた。またグループワークやチーム製作の時間を設けた他、プレゼンテーション能力の強化にも力を注いだ	キャリア教育・実践的な職業教育において何が求められているかを分析し、個々に合った教育方法の工夫、また新しい授業形態の取り入れなどを試みる。また学科等のカリキュラム内容の適時見直し、確認をすることによって、カリキュラムの改編を図る
	・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	業界のニーズに合うよう、関連分野の企業や関係施設・業界団体等と意見の受容や交換を行い、適時情報収集を行った。上記の意見を取り入れながら、各学科主任がカリキュラムを作成し、適時見直しを行って上進に注力した	カリキュラムは慎重に審議し、より良いカリキュラムのために改編と充実を図る。関連分野の企業・関係施設等、また業界団体からの情報収集を重点的に行い、教育方法の向上と最新の技術の習得に取り組んでいく
	・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携事業）は体系的に位置づけられているか	インターンシップ先、就職先など、キャリア形成の基となる企業と連携し、実践的な職業教育の適正化を図った	関連分野において求められている実践的な職業教育とは何かを関連企業等とよく話し合い、教職員間での理解を深め、更なる体系化と適正化を策す
	・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	インターンシップ受け入れ企業、就職先の企業、その他多くの企業・個人等からの評価・意見を積極的に募った。その評価を教育や授業内容に反映させ、充足させた	学校関係企業のみならず、対外的な接触のある産官学や個人からの評価・意見を求める。集めた評価や意見をもとに分析や改削を積み、それらを取り入れた教育の充実を試みる
	・ 授業評価・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確にな	授業、成績、単位ともそれぞれ内規によって基準が明確にされているため、判定会議等で諮り、確定されている。進	内規を元に、授業、成績、単位の評価や認定を行っていく。進級・卒業に関しても同様である。だが規定のレベルまで到達

	っているか	級・卒業においても基準を元にして決定を行った。学生全員が規定のレベルまで到達できるよう指導の強化を試みたが、若干改善の余地があると思われる	達しない学生に対して、どのように対処を試みレベルの向上・発展につなげていくか、教職員間で適時話し合いを経ながら、平均レベルの上昇に務める
	・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	資格取得のため、取得に必要な知識・技術を得られるよう指導の徹底に努め、個々の学生に合わせた指導体制を整えた。今度もさらに資格取得率向上のため教育の質の向上を図る	カリキュラムに沿った教育の中において、個々の学生の得意な分野、レベルに合わせた資格取得を推奨し、資格取得率の進境を驗す。指導体制に関しても適宜教職員に要される知識・技術・技能の広範な研究を行う。都度改編を行っていく
	・ 人材育成目標達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	育成すべき人材像を明確に定めたうえで、それに足る授業を行える教員の確保を行った。また目標達成に向け、既存の教員の指導力・技術力・最新の技術等の向上と強化を図った	教員の確保の他に、既存の教員の更なる知識・指導・技術における上進を試みる。また、人材育成目標達成に対しての現状での達成の程度、授業内容が適切であるかどうかを教員間で常に確認し、本校の理想とする人材育成を目指す
	・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	先端的な知識・技能等を習得するため、研修会に積極的に参加し、知識や技能の増進を試みた。また指導力の育成に関しても、教員間での情報共有や交換を活発に行い、資質の向上と不足と思われる部分の補填を実施した	関連分野においての最先端の知識・技能等と、今現在教員が有する知識・技能等がどの程度差異があるかを認知し、更なる知識や技能の発展を試みる。研修に関しても広い視野で現状を鑑み、不足と思われる部分の強化・上達に取り組む
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか	進路指導担当者、担任教員が就職を希望する学生と面談を実施した。そのうえで希望内容や適性を考慮し、就職の応募や面接などのサポートを行いながら、就職率の向上を図った	学生本人にキャリア形成の意識を了知させ、個々の学生のレベル、人格等をよく分析し、企業における求人内容と学生本人の適性をよくすり合せ、個々に合わせた適切な指導とサポートを行っていく
	・ 資格取得率の向上が図られているか	自ら挑戦する意欲を持たせる指導の強化に取り組み、各自に資格取得の必要性和重要性を認識させた。また検定対策の授業等も行ったが、資格取得率の向上に関しては伸び悩んだ部分もあり、改善が求められる	前年度の資格取得率の伸び悩みを觀取し、その解析を行い、学生の個々人のレベルに合った資格取得の挑戦であったか、検定対策授業の内容が適切であったか等を省みる。そのうえで個々の学生に適した資格取得の提案、強化・克服、検定対策の改良を驗す
	・退学率の低減が図られているか	担任教員による面談やカウンセラーによる指導等を実施することで、学習意欲の維持・メンタルケアを行った。一人一人の問題の分析をし、それぞれに合った対策を講じることによって退学率の低減に努めた	多様な学生に対応していくため、面談を行った教員やカウンセラー間でよく話し合い、一人一人に即した適切な善後策を思議する。学校に於ける学習意欲低下の原因、また精神的な負担の原因を除き、軽減していくことで、本校で勉学に励む意義や将来の構想を看取させ、退学率の低減に努める
	・ 卒業生・在校生の社会的な活躍や卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	卒業後の就職先や本人との連携を図り、情報収集を積極的に行った。その活躍を把握して発表し、在校生に対してキャリア教育の重要性を認識させるなど、教育活動に活用した。また在校生の活躍も大きく校内に向けて喧伝し、学生の学習意欲への刺激としている	卒業生との連絡を密にし、就職後も精神的・技術的にサポートしていくことで、社会で活躍するキャリア形成を導く。それを元に、社会的に活躍している卒業生の姿を広く校内に号し、在校生のキャリア形成における構想の礎とする。在校生個々人のキャリア形成の構想を汲み取り、理想とするキャリ

			ア形成のために必要な知識・技能が身に付けられるよう、教育活動の内容を適宜改善し増進に励む
(5)学生支援	・ 進路・就職に関する指導・支援は行われているか	担任教員と進路指導担当教員が密接に連携し、就職希望の学生に早期の段階で面談を行い、進路希望を聞く。そのうえで本人の適性や求人との適合の度合いを見て進路選択を行う。また指導の他、求人の紹介や面接練習などの支援をしている	担任教員と進路指導担当教員の連携を更に深め、学生本人との面談を適宜行っていく。また他の教員とも相談や連携を図ることによって、担任教員や進路指導担当教員が見落としていた適性や可能性を拾い上げ、より学生本人に合った進路・就職の開拓に努める。また、履歴書等の書類の書き方、面接等の指導を強化し、直接的な支援体制を増強させることによって、学生の不安や懸念を除斥する
	・ 学生相談に関する体制は整備されているか	学生のサポートとして担任教員・指導部とスクールカウンセラーが連携し、個別対応を重視した環境づくりに努めている。また適切な対処を講じることによって学生の信頼の増幅に励んだ	現状を維持しながら、より学生が相談しやすく、相談内容に対して適切な対応策を企画する。安心して相談できる環境づくりのみならず、常日頃からの声掛けなどで相談しやすい雰囲気づくりを心掛ける
	・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	日本学生支援機構の奨学金制度など、経済的支援態勢を整えている。また学費の分割制度などを整備し、経済的に支援の必要な学生に対して配慮している	学生一人一人の家庭環境などを十二分に考慮し、各自に合った負担の少ない支援体制を案出する。必要に応じた制度の利用を促す
	・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	クラブ活動・ボランティア活動など学生らしく生活ができる支援体制が整備されている。それらの活動を通して人間性をより豊かにし、様々なチャレンジが出来る環境を作っている	今現在行っている活動のみに終止せず、より広範な活動が出来るよう、産官学とも連携の強化を図り、更なる課外活動への挑戦を促す
	・ 保護者会と適切に連携しているか	保護者会組織がとて充実している。必要に応じて担任教員が連絡を取りながら保護者と相談を重ね、信頼関係を築いている	保護者会組織の更なる充実を図るのみならず、校内のイベントや学生の学校生活における保護者の支援を呼びかけ、適正な関係づくりに努める
	・ 卒業生へのニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	同窓会組織が確立しているため、卒業生とも連携を取りながら相互の情報交換を行っている。卒業生からの意見などを尊重し、学校活動や教育の改善に励んでいる	同窓会組織、各卒業生との密な連絡や情報交換を行い、卒業生の立場から見た学校に対する要望や意見などの汲み取りを量る。それらのニーズに応えられるよう、教育環境の整備の上進を策す
	・ 中学・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	中学生には職場体験の受け入れ、高校生にはキャリア教育の講座等を行い、職業教育に取り組んでいる。年間予定に合わせて各学校からアンケートを取り、より多くの学校へキャリア教育の取り組みを伝えられるよう積極的に連携を行った	引き続き中学生への職場体験の受け入れ、高校生へのキャリア教育の講座等を行い、更に広範囲かつ多数の学校と本校との連携を図る。連携の上、中学・高校・高等専修学校がそれぞれに合ったキャリア教育、職業教育の理解に努める教育活動を行う
	(6)教育環境	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備さ	定期的なメンテナンスを適正に行い、学習環境の整備・校内設備の点検・修繕に務めている

	れているか		
	・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	実習施設、インターンシップにおいては各企業との密接な連携の元、学生が学ぶに相応しい環境の提供を受けとて恵まれている。更なる充実を図るために連携企業の開拓にも努める	実習施設やインターンシップの受け入れ企業との連携を更に深め、学生自身がより広い見識を得られる環境づくりに勤む。また、連携企業の開拓などを積極的に行うことによって、更なる教育体制の整備と増強を試みる
	・ 防災に対する体制は整備されているか	毎年防災訓練を実施し、防災意識の向上・被災した場合の対処法の認知を図っている。非常備品・避難経路の点検もこまめに行っている	防災訓練の実施と防災意識の向上により、学生一人一人が緊急の事態にも対処できるよう指導を強化していく。また校内における防災のための備品・経路等の点検をこまめに行う
(7) 学生の受入れ募集	・ 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が積極的に行われているか	学校訪問等によってオープンスクールの開催や学生の募集要項の周知を行っている。だが、より情報発信の増強と働きかけが必要と思われる	学校訪問、HP 等での情報発信、また時勢に合わせた方法・手段での情報提供の仕方を探る。広範囲への周知に取り組む。また積極的に情報発信をするのみならず、日々情報の更新をし、効果的な宣伝の方法を研究する
	・ 学生募集活動は、適正に行われているか	募集要項に基づいた説明の他、進路指導教員への案内に務めたものの、生徒に対する周知が不足したため、結果としては上々とは言えず、更なる努力・強化が必要である	学生募集・広報活動は、本校の特色やキャリア形成等の周知においては不足している部分が多い。そのため学生募集活動をより強化していくために、まず知名度の向上に注力し、対外的な宣伝方法の研究と、新しいツールを活用する等の取り組みをもって増進を試みる
	・ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報や教育成果は正確に伝えられているか	学生募集活動において、各種資格や検定の合格率、就職率を伝え、教育成果においても各種資料を用意した。だが各種の資格に関しては、資格等の性質や内容などが十分に伝わっていなかった面もあり、次年度の更なる強化・補填が必要である	各種資格検定の合格率、就職状況等を正確に伝えるのは無論、更に学生募集活動に紐づけて活かしていけるよう改善を企図する。どういった内容の資格や検定なのか、また就職先がどういった企業であるか、それぞれどの程度の割合なのか、募集の対象である生徒やその保護者、進路指導担当などに解りやすく正確に伝えられるよう、資料等の見直しや説明の仕方をしっかりと反省し、徹底させなければならない
	・ 学納金は妥当なものとなっているか	関係部門で検討したうえで理事会に諮り、学納金の金額を決定している。そのため適正かつ妥当なものとなっている	現状のように関係部門での十分な検討の元、理事会において諮り、学納金の金額を決定する。学費の水準が妥当なものとなるよう十二分に熟思している
(8) 財務	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	現段階では安定していると言えるが、中長期的に考えると取り組むべき課題もある	学校の現状に対して消費節約に意を払い、入学生の増加を図り、収入の増加に努めていく
	・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	理事会・評議員会においてチェックを行っており、有効かつ妥当なものとなっている	努力目標を定め、努めていく
	・ 財務について会計監査が適正に行われているか	財務について会計監査が適正に行われている	努力目標を定め、努めていく
	・ 財務情報公開の体制整備はできているか	財務の情報公開体制整備はできている	努力目標を定め、努めていく

(9)法令等の遵守	・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	監督省庁の許認可を受け、適正かつ適切に学校運営がなされている	努力目標を定め、努めていく
	・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	教職員への啓発を高める取り組みが行われており、個人情報に関する取扱いの管理体制は整備されている	様々な個人情報管理の強化徹底を行う
	・ 自己評価の実施と問題点の改善を行い、自己評価結果を公開しているか	自己評価を実施し、学校関係者等の評価を経て問題点の改善を行い、公開している	今後第三者評価機構による評価にも取り組む必要がある
(10)社会貢献・地域貢献	・ 学友会のボランティア活動を奨励、支援しているか	学友会において、近隣の清掃や災害等における被災地への募金活動、支援活動も行っている	地域、諸団体と連携した活動を積極的に行うことにより学生の自立に向けた取り組みの支援を行う。ボランティア活動も幅を広げ、より広範な社会貢献を試みる
	・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）を積極的に実施しているか	一般向けの公開講座を積極的に実施し、教育訓練などにも取り組んでいる	学校主催の講習会やワークショップ等を開催し、より多くの方に参加していただけるように更に周知に努め、引き続き継続していく
(11)国際交流	・ 留学生の受入れ・派遣に積極的に取り組んでいるか	留学生の募集活動に努めているが、震災後受入れがなされていない状況である	留学生が求めている環境を理解し、募集活動に努めることで、留学生招致を試みる